

こうなん NOW

平成24年度香南市広報誌

KONAN

★今月のNOW情報

特集 震災から2年 2～5

水の恵み 6～7

Hot News Now(土佐一絃琴展など) 8

High School Love 城山【最終回】 25

スポーツ・Konanの駅伝【後編】 28～29

まちづくり応援します・市長談話室 30～31

香南のお花見スポット 32

祝 開 通!



▲ 今月の表紙【場所:香南かがみインターチェンジ】
高知東部自動車道「香南かがみIC～香南やすIC」開
通式で行われたもち投げに笑顔あふれる人々(左上
写真は若一王子宮獅子舞)【関連ページ…9ページ】

【参加者の感想】

- 事前に報道等で見聞きしていたことより、はるかに規模が大きく悲惨な現場を見て、地域の皆さんに地震の怖さというものを大いに語り、防災に役立てていかなければと痛感いたしました。
- 地域の人々に「逃げる」「助かる」気持ちを重点とした防災意識をもつことの大切さ、東北の人々からのメッセージを伝えていくことなど、必ず助かるために今自分ができることに積極的に取り組んでいかなければと思いを新たにしました。
- お（幼い子どもを前に上級生は後にして）・は（走ってはいけない）・し（しゃべらない）・も（戻らない、目的地まで行く）という言葉が覚ええました。



【写真提供】香南ケーブルテレビ

震災から2年

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から間もなく2年が経とうとしています。しかし、今なお被災地ではさまざまな厳しい問題に直面しています。

大震災から2年を迎えるにあたり、前半は、昨年度が自主防災組織を対象に行った「東日本大震災被災地視察研修の様子」と「災害への備え」について、後半は、被災者の復興を支援する団体「ちーむ麻の葉」の活動と「女川通信」を全4ページにわたって紹介します。

■問い合わせ
防災対策課
☎ 57-8501

自主防災組織、被災地へ

市 では津波の被害の実態などを学んでもらう、今後の取り組みに生かしてもらうと、津波浸水想定域にあたる自主防災組織を対象とした「東日本大震災被災地視察研修」を企画。昨年9月26日～28日と10月31日～11月2日の2回に分かれて、34組織54人が参加しました。

一瞬にしてまちが消える

仙 台空港へ降り立った二行がバスで移動中、車窓から見える景色は、大量のれきや建物の基礎部分だけが残る、ただ広い荒野が広がっていました。実際に被災地の惨状を目の当たりにし、テレビで見ていた時よりもはるかに津波のすさまじさを実感。尊い命が一瞬にして奪われた悲しみが込み上げ、言葉になりませんでした。

被災者の体験談

水 産業や観光業が盛んな宮城県気仙沼市では、リアス海岸で津波が高くなり、海が見えない地域にも甚大な被害が広がっていました。長さ60m、重さ330トン

の漁船が内陸部まで流されていました。また、大きな被害を受けた気仙沼港の近くでは、プレハブ造りの仮設店舗で以前の賑わいを少しでも取り戻そうと、屋台村が誕生。そこで、東日本大震災を経験した方の話を伺うことができました。

「津波の基準は、51年前のチリ地震津波の高さが基準。ここまで来れば、チリ地震でも来なかったから大丈夫」と思っていた人が犠牲となった。なだらかに高くなっている所は、津波が上ってくるので絶対にダメ。津波警報が出たら、空振りでもいいから、とにかく逃げること」

想定をはるかに上回る津波

宮 城県女川町役場を訪れた際には、防災担当の安部清人さんの講演に耳を傾けました。来たる宮城県沖地震に備え、6mの津波を想定。しかし、実際には想定を大きく上回る18mの津波が襲い、240mにわたる防波堤を破壊しました。想定を信じ避難しなかった多くの方が犠牲になり、まちは大きく変貌。まちの7割の家屋が流されるという甚大な被害をもたらした原因には「平地が極端に少なく、背後地は山」という地形が大きく関わっていました。

語り部から学ぶ

語 リ部の方から話を聞き、特に印象に残っている言葉を紹介します。

- 警報が出たら、騙されてもいいから逃げる（大丈夫だろうという考えは捨てる）
- 防災訓練をおろそかにしない（普段からやっていること以上のことはできない）
- 一度避難したら一定の時間は家などに引き返さない（引き返して被災した人がいた）
- 緊急時の連絡先を家族で決めておく（例えば、東京の親戚を連絡先にするなど）

研修を終えて

私 たちは時間が経つにつれ、少しずつあの日のことを忘れてはいきませんが、被災地では住居や医療、雇用などの課題がいまだに山積しています。その中で希望を絶やさず懸命に生きる人のために、私たちは何ができるのでしょうか。

今回の研修で学んだことを1人でも多くの人に伝え、各地域の防災対策に役立てたいものです。そして、東日本大震災を教訓に何を学び、次の南海トラフ巨大地震に備え何を行うのか、その問いに一人ひとりが常に向き合わなければなりません。「自分たちの地域は自分たちで守る」として、地震・津波による犠牲者を1人でも少なくするために…。

Interview

香我美町岸本 新町自治会自主防災会 会長 川崎 稔さん

より早く、より高く、より遠くへ逃げる

今 回の研修で、特に心に残った語り部の方の話があります。それは、津波に流されまいと必死に木にしがみつく親子の話。「息子が片手で木に捕まり、もう一方の手で父親の手を離すまいと頑張るが、このままでは木が折れて二人とも流されるという状況の中、ついに父親から手を離され、その時の手のぬくもりが忘れられません」という話に涙し、一緒に逃げることの難しさを痛感しました。

視察研修中、何度も耳にした避難の基本は「より早く、より高く、より遠く」へ逃げること。そのためには、まずは「自分が生きること」、そして家族、地域へと順番に救助の手を広げていくことが大事だということです。

私たちの地域には、防災コミュニティセンターが3月に完成し、住民活動と防災の拠点としての期待が高まっています。時間が経つにつれ記憶は薄れていきますが「継続は力なり」ということわざのとおり、話し合いや訓練を繰り返し、防災意識を高めていかなければならないと思います。

これからも地震・津波対策に対する地域の声を行政に届け、サポートしてまいります。



災害への備え

皆さん、将来必ず起こると言われている南海トラフ巨大地震に備えて、身の回りの準備は万端ですか。いざ災害が起こって、後悔やパニックに陥らないように、日ごろからの備えが大切です。

備えて安心！ 心強い「非常持出袋」

非常持出用品は、災害発生時にすぐ持ち出すべき「1次持出用品」と、その後の数日間を自活するために必要な「2次持出用品」に分類できます。全てのラインが機能しないことを想定して、準備します。賞味期限のある水や食料、使用期限のある電池などは、定期的に中身を交換しましょう。また、**玄関にはボール、寝室には靴（スリッパ）を備えて**いつでも家屋から脱出できる準備も必要です。

1次持出品

- ①水(目安は1人1日3ℓ)
- ②懐中電灯③非常食品
- ④緊急医薬品・常備薬
- ⑤携帯電話⑥携帯ラジオ
- ⑦財布⑧貴重品
- ⑨通帳・印鑑 など

2次持出品

- ①マッチ・ライター
- ②トイレトペーパー・ウェットティッシュ
- ③生理用品④洗面具
- ⑤ビニール袋⑥ラップ
- ⑦コンロ⑧新聞紙
- ⑨予備電池 など



ワンポイントアドバイス

貴重品

現金や通帳などの貴重品は、すぐ持ち出せるように準備をしておきましょう。

ガソリン

車のガソリンは、残り半分になったら給油するようにしましょう。

緊急情報メール配信

香南市が配信している「緊急情報メール配信」の登録をしましょう。地震・台風・大雨などの防災気象情報をお知らせします。登録は無料です。

URLを直接入力する場合

<https://kochi-konan.mail-dpt.jp>

※携帯電話のカメラ機能「バーコードリーダー」で読み取る

※アクセスできないときはURLを直接入力してください



ちーむ麻の葉

復興支援団体

それでも海が好きだから... 私たちは津波であまりにも多くのものを失いました。けれど、私たちは海を恨んではいけません。海とともに自然豊かなこの地で生きていこうと思っています。

震災直後から募金や物資提供などさまざまな形で被災地支援が行われてきました。これからは継続的な支援が必要とされている中「何か自分にも協力できることはないかな」と感じられている方も多いのでは。

「奇跡の一本松」で知られる若手県陸前高田市には、手仕事を通じて復興支援を行っている、被災者による被災者支援団体「ちーむ麻の葉」があります。その活動に賛同し、香南市内でも婦人会を始めJA女性部などさまざまな団体や個人による支援の輪が広がっています。「ちーむ麻の葉」の活動を紹介します。

手を動かしてあげれば 気がまぎれる

活動のきっかけは、支援物資を持って仮設住宅(以下、仮設)を回っていた時に、あるおばあちゃんの仮設で台所にぶら下がっていたドレスタオルを目にしました。それは、おばあちゃんが支援物資でもらったタオルを使って手作りしたもので、おばあちゃんの「手を動かしている時は気がまぎれるから」

海とともに生きる

その後、このプロジェクトを進めるにあたり、仮設で生活する方々に必要なことは「自分たちにもやる必要がある。役に立つという誇りだ」と気づきました。そこで『それでも海が好きだから...半歩前進プロジェクト』と命名。お涙ちよったいではなく、海に多くを奪われても、海を愛し、海とともに生きるという被災地の真の想いを知っていただくことを主旨としています。

一枚のタオルから生まれる「ときめき」

活動内容としては、ドレスタオルやアクリルたわしの材料を無償で提供し、でき上がった作品を買い取り、それを支援してくださる方々から寄せられた数多くのご支援の賜物だと思えます。被災地に心をお寄せくださっていることに心から感謝いたします。

これからも笑顔あふれる活動を続けていく

「まだ、縫っていいですか」「もっと編んでいいですか」そんな言葉に「もちろんです。注文があるんですよ!」そう答えられる日々が続きますように...これからも微力ながら「ふれあいの活動を続けてまいります。」
「みんなが笑顔になって、人と人がつながっていける。そして、この三陸で海と一緒についていって生きていきたい!」そう思いながら...

取り扱い店

野市町にある「お菓子と雑貨 おひさん」では、ドレスタオルとアクリルたわしセットの販売、およびドレスタオルを作るための材料を集めて、ちーむ麻の葉に送る窓口をしています。皆さんの温かいご支援をお願いいたします。

ドレスタオルとアクリルたわしのセット 1,100円

全額が支援金として被災地へ届きます。



①海を汚さないために、洗剤不要のアクリルたわし。
②ペーパータオルではなく、繰り返し使えるドレスタオル。

材料を集めています

- ★タオル(厚地のもの)
- ★ボタン(あまり大きくないもの)
- ★バイヤステープ(幅12.7mmのもの、無地、柄)
- ★綿レース(白、色もの、あまり幅の広くないもの)
- ★アクリル100%毛糸
- ★縫い糸(ミシン糸、手縫い糸)



■問い合わせ
おひさん ☎56-1053



ドレスタオルのおかげで毎日楽しく暮らしています。本当にありがとうございます。



▲ちーむ麻の葉のスタッフ
左から、近江ひろみさん、大和田加代子さん(代表)、鈴木こうさん、玄修さん

る方々に買っていただくというものです。
ドレスタオルにこだわるのは、訳があります。それは「ときめき」。一枚のタオルが、ワンピースに形を変えていく過程で、母ちゃんたちは何度も目を細めながら「めいこいな(かわいいな)」「とつぷやく光景を目にし、この「ときめき」こそが、被災者に必要なのだと感じました。

授産施設も協力

また、ドレスタオルをかけるハンガーは、地元「気仙杉」の端材を使い、知的障害者授産施設の「あすなるホーム」に仕上げ加工をお願いしています。あすなるホームは、震災の直接的な被害は少なかったのですが、取引先の多くを失い、仕事の受注が減っていたこともあり、ともに復興を目指すものとしてタッグを結成。ちーむ麻の葉だけでなく、授産施設を巻き込んでプロジェクトになっています。

被災者に元氣と誇りを与える

ドレスタオルを回収に伺った

被災した土地の買い取り
これまで用地係では、町中心部の先行地区である高台移転先の用地買収を行ってきました。これも被災者が生活を再建するうえで重要なことです。
一方、被災した土地の買い取りも同等に、いえ、それ以上に重要なことです。というのも、平地が少ない女川町では、被災者の移転先を全て高台(山林)にすることはできず、被災した土地の一部を今回の津波レベル以上に高上げ(盛土)し、居住地を造成しなければなりません。ですので、被災した土地の買い取りは、復興の事業用地を確保することに
なり、またその土地代金が被災者の生活再建に必要な直接的資金となることから、一時も遅らすことができないのです。



▲雪化粧した被災地(町中心部高台から)

契約に際しての被災者の苦悩
買取対象となる土地には、登記名義人が亡くなっていたり、抵当権が設定されている土地が数多くあります。緊防空は任意事業であるため、所有権移転の前提登記となる相続登記や担保権抹消登記は、契約前までに権利者自らが行わなければなりません。中には多額の債務を抱えており抵当権が抹消できない、司法書士が手一杯で登記ができないといった方もおられ、買取期限が迫る中、多数の権利者がその対処に大変な苦労をされました。窓口相談にいられた被災者の切実な苦悩を目の当たりにし、言葉を失います。

買い取り対象は1,500筆900人

そのような状況において、昨年11月下旬から緊防空での町中心部の被災した土地の買い取りが始まりました。買い取りの対象となる土地は、1,500筆900人、うち売却希望が800筆700人と膨大な数です。そのため、行政区単位で日程を決め、現在は3階建て仮設住宅が建つ町民野球場の事務室に個別ブースを設置し、契約会を行いました。

契約会には、被災した土地の売却を希望する方々が次々と訪れ、町職員とコンサルタントが対応しますが、何の問題もなく手続きが完了する方がいる一方で、今まで住み慣れた土地を手放す思いと葛藤する方など、その様子は人それぞれです。結果、約1カ月で700筆500人(28社、33億円)の買い取りを行いました。

今後も続く土地の買い取り

しかし、女川町全体からすると、緊防空での土地の買い取りは半分にもなりません。今月下旬からは、町中心部における防災集団移転促進事業(以下、防集)による被災した土地の買い取りが数カ月かけて始まります。

また、離半島に点在する13の各地区も待たなしの状況です。こちら、防集による被災した土地の買い取りと高台移転先の用地買収を行います。

早期の復興・被災者の生活再建を図るべく、土地の買い取りはまだまだ続きます。派遣期間も残すところ1カ月となりましたが、女川町が復興へ進むよう、精一杯頑張ります。

女川通信 ④

昨年4月より宮城県女川町に派遣されている市職員川崎大也 主査の復興奮闘記をお伝えします。
※不定期掲載





▲木の皮を食べるシカ

▲三嶺の「さおりが原」 右写真は平成14年に撮影。希少植物も宿す豊かな森でした。左写真は平成19年に撮影。下草のマネキグサがシカの食害被害に遭い、林床砂漠化状態に。平成20年3月にシカの防護柵を設置し、マネキグサは蘇りました。シカが好んで食べる草木の中には、貴重な絶滅危惧種が含まれています。

冬季の田を活用した地下水涵養事業面積

(単位:a)

年度	合計
18年度	395.8
19年度	603.0
20年度	624.5
21年度	629.3
22年度	673.5
23年度	653.8
24年度	693.4



市では、野市町や吉川町、香我美町の地下水涵養能力の高い田を対象に、11月から2月の間、休耕田へ水をためてもらおう事業(1a当たり3,000円の補助事業)を実施しています。また、平成25年度から1,000aを目標に、積極的に涵養事業を推進していきます。

冬季の田を活用

市では各課が連携し、さまざまな水源涵養事業を実施しています。市での水道水のほとんどは、地下水を利用しています。地下水は、市民生活はもとより、農業、工業など地域経済を支えます。豊かな自然環境を育んでいます。しかし、都市化に伴い農地などが減ることで、雨水が地下に浸透しにくくなっています。こうした土地には、その用途に応じて、地下水涵養機能を回復させていく必要があります。

市では各課が連携し、さまざまな水源涵養事業を実施しています。みんなの水を守るため

雨水浸透枮の設置

地下水量の減少の一因に、都市化の進展があります。地下水涵養能力の高い地域が宅地化等でアスファルトやコンクリートに覆われ、雨水が地下に浸透しにくくなっています。このような状況に対応するため、市では開発の際に、雨水浸透枮の設置を義務付けています。また、ビニールハウスの雨水浸透枮の設置に、補助金を交付し、畑地での地下水涵養も推進しています。このような雨水浸透枮は、設置後の管理が大変重要になります。枮の底へ、土や草などが溜まると、地下への浸透が十分にできないうちがあるため、管理については、適正な維持管理に努めていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。



▲ビニールハウスの雨水浸透枮

用排水路の底抜き

地下水涵養能力の高い地域には、用排水路工事のコンクリート三面張りに、底抜きを行い、水路から地下へ浸透させていきます。用排水路の幅は、1m以上を対象としています。必要に応じて1m以下でも実施します。ただし管理については、地域の皆さまにもご協力いただきますよう、ご理解をお願いします。

水源涵養林の整備

物部川等の河川流量の安定と地下水涵養を図るため、上流域の水源涵養林の間伐など、整備を行っています。

また、平成23年10月に、高知空港ビル株式会社と県および市の3者が「協働の森づくりパートナーズ協定」を締結し、市の保有する森林の再生を図っています。この協定により、3年間香我美町撫川字力ナツキの森林約88haが整備されています。

■問い合わせ
企画課 ☎57-80503



水の恵み

人が生きていくためには、水はなくてはならないもの。家庭では、炊事や洗濯、風呂、水洗トイレで使うのをはじめ、飲食店やホテル、プール、学校などの公共の施設などでも多くの水が使われています。また、生活のための水だけではなく、農作物を作るための田や畑にも必要です。工場でも大量の水を使っています。

水は人々の暮らしになくてはならないものです。

このページでは、水資源を守っていくための市の対策や、2月9日に高知工科大学で行われた、物部川シンポジウムの内容を紹介しながら“水の恵み”について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



2月9日(土)

なんで濁っちゅうが？物部川

物部川を考えるシンポジウム

高知工科大学の講堂で行われた「物部川を考えるシンポジウム」では、約200人の参加者が、香美森林組合や流域住民らの討論に耳を傾けました。

これは、「物部川祭り実行委員会」物部川21世紀の森と水の会の主催で行われました。シンポジウムの内容を編集して紹介します。

物部川の恵み

標高1,770mの白髪山から太平洋まで約71kmの距離を下つていく物部川は、高知県の一級河川の一つです。江戸時代に野中兼山が、山田堰や灌漑用水を手掛け、物部川の豊富な水が香長平野の隅々まで行き渡るようになり、農業を発展させました。この恩恵は、現在も続いており、野市町の北部地域では、生産量日本一のニラ栽培の散水用などに利用されています。また、地下水は飲料用水や農業用水、工業用水などに利用されています。

山のチカラ

川の様子は、50年前と比べて随分変わってきました。水の源となる山の保水力は、林業の低迷で森林保全が進まなかったことや、生活環境の変化などから水源を守る人たちが山里から離れたり高齢化したことで、時代の流れとともに低下しています。

また、平成5年の物部村の山火事の後、下草が生い茂ったことで、エサを求めてたくさんシカが移動し繁殖。増えすぎたシカは飢えをしのぐため、普段は食べない木の皮を食べ、次々と木を枯らしたことが、土砂流出の原因となっています。

なんで濁っちゅうが？

平成16年の集中豪雨や平成17年の台風によって、三嶺など物部川流域で山腹崩壊が発生し、大量の土砂が流下しました。その結果、上流から流れた土砂やヘドロを長年ため込んだダムの影響などで、雨のたびに濁水が発生。昨年は激しい濁水とな

る日が、4カ月の間で70日もあり清流とはほど遠い状況が続き、川に棲む生き物にとっても厳しい年となりました。また、このような濁水が今後も続けば、農業や漁業に大きな影響がでてきそうです。

人のチカラ

「物部川21世紀の森と水の会」や流域の人々で組織された「アーク・リプル・ネットワーク」などでは、昔の自然豊かな物部川を取り戻す運動を10年以上前から始めています。間伐や、シカの食害防止ネット張り、子どもや大人たちへの環境学習などを精力的に行っています。



▲シカ食害防止ネットを木へ巻き付けているボランティア

山・川・海を一つに考え、みんなが少しずつ協力しあえる仕組みづくりを考え実行することが、物部川の再生に繋がります。今、私たちにできること。まずは知ることから始めてみませんか？

物部川を守る活動にみんなのチカラを！

シンポジウムの中で、香美森林組合の野島常総組会長は「山の保水力の低下は、戦後、国策によって増え続けた人工林の価格低迷や、山の手入れをする人の減少などで、十分な管理ができない状態になったことや、シカの食害による影響などが考えられます。しかし、このような状態になってしまったことを悔いるより、前を向いてどうすれば昔の環境を取り戻せるのかを考えて行かなければいけません」と訴えました。

また、アーク・リプル・ネットワークの岩神篤彦座長は「ボランティアによる活動には限界があります。これからは、国や県、市、企業、各種団体や市民の皆さんが協働で森作りができる仕組み作りが必要。今日が、そのスタートの日です」と意気込んでいました。これから始まる新たな取り組みには、市民の皆さんのご協力が必要です。シカの食害防止ネット張りや、川の清掃イベントを広報でもお知らせします。ぜひ、この取り組みに注目し、参加していただきたいと思っています。



伝言板



1月11日(金)～13日(日) 生涯学習課 ☎57-7523 土佐一絃琴展

奏法が県無形文化財に指定されている一絃琴を土佐に広めた、山北村の郷土、門田宇平の没後150年を記念し「香我美町一絃琴の会」の協力により、香我美図書館で『土佐一絃琴展』を開催しました。

会場には、門下の坂本権平(龍馬の兄)や乙女(龍馬の姉)も聞いたと思われる、宇平愛用の琴などの展示のほか、一絃琴の体験もあり、来場者からは「テレビで見たことはあったけど、まさか弾かしてもらうことができると思わなかった」と喜びの声があがっていました。

また、門田宇平の6代目にあたる 浜田康氏(南国市)による講演会には、130人が参加し『一絃琴と和歌』について学びました。



1月31日(木) 生涯学習課 ☎57-7523 高知県公民館研究大会を開催

高知県公民館研究大会は、年に1回、県内の6ブロックを1年毎に巡回する方法で開催しています。

今回は、県内から213人が、のいちふれあいセンターへ集まり「地域の力を活かす公民館活動」を大会スローガンに掲げ、基調講演や香我美町岸本公民館長兼香我美町岸本まちづくり協議会長、野島康博さんによる実践発表を行った後、参加者による分科会を開催しました。

2月17日(日) 建設課 ☎57-7518 高知東部自動車道 香南かがみIC～香南やすIC 開通

香我美中学校体育館で開通式典が、また香我美町徳王子の香南かがみインターチェンジでは開通セレモニーが盛大に開催され、地域住民ら約500人が足を運びました。

式典では、道路建設に関わった関係者約150人の出席のもと、祝辞や工事経過報告などが厳粛に行われました。また、地元生徒を代表して、香我美中学校2年の別役朱花さんが「高速道路のおかげで生活が便利になり、また、命を救う道として重要な役割をもつ道路ができてうれしいです」と謝辞を述べました。

その後、香南かがみインターチェンジに移動し、開通セレモニーを開催。テープカットとくす玉割りを行い、地元の若一王子宮若連中による「獅子舞」ともち投げで開通を祝いました。そして、一般開通の午後3時には、開通を待ちわびた車両が続々と乗り込みました。



1月29日(火) 防災対策課 ☎57-8501 自衛隊演習場を地元住民が視察

上分東まちづくり自治会のメンバーと山南まちづくり協議会の役員49人が、造成工事が進められている自衛隊演習場を視察しました。参加者は、中国四国防衛局の担当者からの説明を熱心に聞き、演習場に対する理解を深めました。

今後の演習場整備計画は、25年度末までに工事がおおむね完了し、26年度より運用開始予定です。



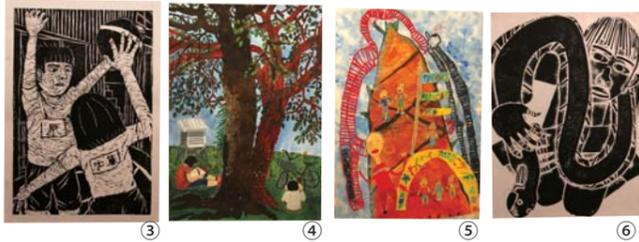
2月6日(水) 建設課 ☎57-7518 緊急連絡路の使用に関する確認書を締結

高知東部自動車道の香南かがみICと香南やすICの間に、大規模な災害が起きたときに緊急車両が本線に入ることができる「緊急連絡路」が整備され、市・国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所・陸上自衛隊第50普通科連隊の3者が、確認書を締結しました。

連絡路は、月見山トンネル西口から西約80mの地点と県道奥西川岸本線をつなぐ、長さ約80m、幅約5mの道路。南海トラフ巨大地震の県の津波浸水想定で、この付近は浸水しないとされており、緊急時に市や陸上自衛隊が進入路の門扉を解錠して進入し、早期の災害復旧や物資輸送などが期待されます。

私 第7回香南市児童生徒美術展覧会 たちの展覧会

2月1日(金)～7日(木)野市図書館で第7回香南市児童生徒美術展覧会が開催され、市内の小・中学生が授業で作成した作品のうち、優秀作品、特選作品に選ばれた約500点が展示されました。同2日にはその中から特別賞に選ばれた児童生徒への表彰式が行われ、会場は人出で賑わいました。受賞した6作品はどれも躍動感にあふれ、講評ではバランスや丁寧さが高く評価されていました。



- ①香南市教育長賞(工作) 鈴木美紅(野市中2年)
- ②香南市校長会長賞(描画) 柴山奏音(赤岡小1年)
- ③香南市教頭会長賞(版画) 佐竹亜衣梨(野市小5年)
- ④香南市長賞(描画) 平川明日香(野市東小6年)
- ⑤造形教育研究会会長賞(描画) 橋田拓真(野市東小2年)
- ⑥土佐香南ライオンズクラブ会長賞(版画) 石崎友梨(野市小3年)



▲特別賞受賞者の児童

アサヒ飲料四国支社長 市長を表敬訪問 こーにゃんがCMデビュー

2月6日(水)アサヒ飲料四国支社の三谷喜代隆支社長と香南市観光PRマスコット「こーにゃん」が、清藤市長を表敬訪問し、飲料水「アサヒ 十六茶」の商品PRを行いました。

同商品のCMには、全国のご当地キャラクター54体を採用し、高知県代表のゆるキャラとしてこーにゃんも出演。5日から、女優の新垣結衣さんがバスガイドに扮し、54体を引き連れて里山を行進するCMが流れています。こーにゃんは「ガッキーと共演できて感無量だにゃっ」と、とてもうれしそうでした。



▲アサヒ飲料四国支社の三谷喜代隆支社長(左)とこーにゃん

百 第38回旧正風揚げ大会 豊凾、あいにくの強風で中止

2月11日(月)野市ふれあい広場で、野市町土佐風保存同好会主催の「第38回旧正風揚げ大会」が開催され、約1,000人の親子連れらが景品の当たる札をばらまく「トバシ」などを楽しみました。

この大会の目玉と言えば、縦横約11メートル、重さ約180kgの「百豊凾」。2年ぶりの登場で大空を勇壮と泳ぐ姿を楽しみにしていましたが、この日は朝から強風が吹き続けたため安全を考慮し断念。観客らは、お披露目された百豊凾をカメラに収めながら「来年こそ揚がってよ」と願いを込めました。



▲観客にお披露目された百豊凾

平成24年度公共ホール音楽活性化支援事業 Dual KOTO×KOTO 箏コンサート 箏が織り成す優しい音色に包まれる

2月14日(木)・15日(金)の両日、野市小学校や三宝荘などで、「Dual KOTO×KOTO」によるお箏のコンサートが行われました。

野市小学校では6年生が対象で、1曲目に校歌がお箏で奏でられた時は、皆顔を見合わせて「どこかで聞いたことがあるなあ」と、最初はちょっと緊張気味だった子どもたち。お箏の体験や給食を一緒に食べるなど、すっかり打ち解けていろんな質問もしていました。

2日目に訪れた三宝荘では、皆さん1曲目から手拍子でノリノリ。途中リクエストも出るほどの盛り上がりで「春の歌」や「ふるさと」では歌声も朗らかに笑顔がたくさん見られました。



▲箏の演奏を聴き入る野市小学校6年生

3月のお知らせ



平成25年度「予備自衛官補」

非常勤の特別国家公務員として、それぞれの職業に従事しながら年間5日〜10数日の訓練に参加し、社会(国)に貢献できる制度です。

■受験資格

▼一般公募 18歳以上34歳未満
▼技術公募 18歳以上で、保有する技能により53〜55歳未満

■受付期間

【第1回】4月3日(水)まで
【第2回】7月16日(火)〜9月30日(月)

※第1回で採用予定数に達した場合、第2回は実施しない場合があります

■試験日

【第1回】4月12日(金)〜15日(月)

市営住宅入居者

■物件・戸数

▼一般世帯用 赤岡町10戸、吉川町1戸、夜須町1戸、香我美町1戸

▼単身者用 夜須町4戸

■申込み方法

申込書に必要事項を記入し必要書類を添付のうえ提出。

■申込書配布期間・配布場所

3月1日(金)〜15日(金)

市役所住宅都計課・市役所市民保険課・各支所

■申込受付期間

3月14日(木)・15日(金)

■申込み・問い合わせ 市役所住宅都計課

お問い合わせはこちらまで

●市役所(本庁) 電話56-0511
総務課 電話57-8500
防災対策課 電話57-8501
財政課 電話57-8502
企画課 電話57-8503
税務課 電話57-8504
収納課 電話57-8505
市民保険課 電話57-8506
人権課 電話57-8507
環境対策課 電話57-8508
高齢者介護課 電話57-8510
上下水道課 電話57-8512
会計課 電話57-8515
議会事務局 電話57-8513
●赤岡支所 電話55-3111
健康対策課 電話57-7516
赤岡市民館 電話55-3600
●吉川支所 電話55-3121
商工水産課 電話57-7520
吉川総合センター 電話55-0525
●香我美支所 電話55-2111
農林課 電話57-7517
建設課 電話57-7518
住宅都計課 電話57-7536
農業委員会 電話57-7519
●夜須支所 電話55-3141
【教育委員会】
学校教育課 電話57-7521
こども課 電話57-7522
生涯学習課 電話57-7523
文化財センター 電話54-2296
【公民館施設】
福祉事務所 電話57-8509
野市中央公民館 電話56-1056
(のいちふれあいセンター)
香我美市民館 電話55-2143
夜須中央公民館 電話54-2121
●香南消防 電話55-4141

【第2回】10月12日(土)〜15日(火) ※いずれか1日を指定されます

職(大卒程度試験)、一般職(大卒程度試験)、皇宮護衛官(大卒程度試験)、法務省専門職員(人間科学)、財務専門官、国税専門官、食品衛生監視員、労働基準監督官、航空管制官

詳細は人事院ホームページの「国家公務員試験採用情報ナビ」をご覧ください。また、申込みは、インターネット申込みをご利用ください。

【国家公務員試験採用情報ナビ】
http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm
インターネット申込み
http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html

国家公務員採用試験

一般職(高卒者試験)、一般職(社会人試験)、皇宮護衛官、刑務官、入国警備官、税務職員、航空保安大学校学生、海上保安大学校学生、海上保安学校学生(特別)、海上保安学校学生、気象大学校学生

▼院卒者試験、大卒程度試験

総合職(院卒者試験)、総合職(大卒程度試験)

会員募集



シルバー人材センターでは、草刈りや剪定・家事支援サービスのできる方を特に募集しています。

▼会員になるためには? 入会説明会を行っていますので、まず電話でご連絡ください。

■対象

おおむね60歳以上の、健康で働く意欲のある方。

■問い合わせ

香南市シルバー人材センター 電話56-4356



「存知ですか? 障害基礎年金」

国民年金の加入中等に初診日がある病気やケガなどで障害の状態になったとき、障害認定日(初診日から1年6カ月を経過した日またはその期間内に症状が固定した日)において、障害等級の1級または2級に該当した場合は、障害基礎年金を受けることができます。ただし、初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち、保険料納付済期間と免除期間(若年者納付猶予期間・学生納付特例期間を含む)を合わせた期間が3分の2以上必要となります。

※初診日が平成28年3月31日以前にあるときは、特例として初診日の前々月までの直近の1年間に保険料の未納がなければよいことになっています。なお、20歳前に初診日のある病気やケガによつて障害の状態になった方は、障害等級の1級または2級に該当すれば20歳から(障害認定日が20歳以後の場合は、障害認定日から)受給できます。ただし、本人に一定額以上の所得や他年金の

食品産業の担い手育成講座

高知大学では、平成25年度の土佐フードビジネスクリエーター(土佐FBC)人材創出事業の受講生(6期生)を募集します。

■研修内容・定員

▼Aコース/食品産業の経営から開発までを担える中核人材の養成(2年間)・5人程度
▼Bコース/技術力を有した食料産業従事者の養成(1年間)・8人程度
▼Cコース/経営的な視点を有する農業従事者の養成(1年間)・15人程度

■選択受講コース/座学の一部を選択して受講(1年間、80時間以内)・若干名

▼企業研修コース/企業研修として座学の一部を選択して受講(1年間、40時間以内)・若干名
場所 高知大学物部キャンパス

高知県工業技術センターほか

■受講料
▼Aコース 50,000円
(初年度40,000円、2年次10,000円)
▼Bコース 40,000円
▼Cコース 30,000円

▼選択受講コース 15,000円

▼企業研修コース 7,500円

※香南市が受講料の2分の1を補助します
■募集期間 4月1日(月)〜26日(金)17時必着
■応募書類の請求・問い合わせ 783-8502

■ホームページ

http://www.ckc.kochi-u.ac.jp/~ckc0001/tosafbc/

国民年金保険料の前納割引がおりトクです!

国民年金では、保険料を前払いすると割引がある「前納」という制度があり、口座振替による「前納」と現金納付やクレジットカード納付による「前納」よりも割引額が多くお得です。

「前納」についての相談は、

お近くの年金事務所または市民保険課へお尋ねください。

■問い合わせ

南国年金事務所 電話088-864-1111
市役所市民保険課



広報へのご意見 広報、毎月楽しみにしています。知り合いの人が載っていたりするとうれしく思います。我が家の子どもも一回載りました。大事に保管しています(笑)

相談

職場のトラブル解決サポートします

高知労働局では、県内5カ所に相談コーナーを設置し、労働に関する相談を受け付けています。

また、労使間における個別労働紛争(不当解雇、労働条件の引き下げ、いじめ・嫌がらせ等)の適切かつ、迅速な解決を図っています。

問い合わせ

- ▼高知労働局総合労働相談コーナー(女性相談員を配置しています)
 - ☎012017831722
 - ☎088-885-6027
 - ▼高知総合労働相談コーナー
 - ☎088-885-6010
 - ▼須崎総合労働相談コーナー
 - ☎0889-4211866
 - ▼四万十総合労働相談コーナー
 - ☎0880-35-3148
 - ▼安芸総合労働相談コーナー
 - ☎0887-35-2128
- ※高知労働局総合労働相談コーナー、四万十総合労働相談コーナーには、女性相談員を配置しています

高齢者

後期高齢者医療保険料の納付はお済みですか?

平成24年度の後期高齢者医療保険料の納付は、平成24年7月31日の第1期納期限から始まり、平成25年2月28日に第8期の納期限を迎えました。年金からの天引きでない方や、口座振替にされていない方は、まだ納付がお済みでない方は、お早めに納付をお願いします。

平成25年3月20日を過ぎても第8期の納付がない場合は督促状が發送され、納付時に督促手数料が200円徴収されますので、お気をつけください。

問い合わせ



家族介護者交流等事業

市内在住で要介護3・4・5認定を受けている高齢者を、在宅で介護している市内在住のご家族に、リフレッシュ券(黒潮温泉入浴料助成・家事支援サービス)時間利用助成のどちらか選択)を支給しています。リフレッシュ券の利用期限は、25年3月31日までとなっていますのでお早めにご利用ください。

問い合わせ

市役所高齢者介護課

税金

土地・家屋等の縦覧・閲覧

《縦覧》土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧

縦覧とは
固定資産税の納税者は、自己所有以外の土地、または家屋の評価額(所有者の情報を除く)を縦覧することが出来ます。

※償却資産は縦覧の対象にはなりません

縦覧期間(土・日・祝日は除く)
4月1日(月)～5月31日(金) 8時30分～17時15分

縦覧できる人 香南市への固定資産税の納税者

必要な物 納税通知書や運転免許証など印鑑

※代理人は委任状が必要

手数料 無料

縦覧場所 税務課

《閲覧》土地・家屋の名寄せ帳 兼課税台帳の閲覧

閲覧とは
納税義務者は、固定資産課税台帳のうち、自己の資産が記載された部分について一年を通して閲覧することが出来ます。また、借地人・借家人等は借りている土地・家屋の閲覧をすることが出来ます。

閲覧期間 期間制限なし

閲覧できる人 固定資産の所有者または納税義務者(所有者等が死亡している場合は相続人ですが、相続権のあることが分かる書類が必要です。例えば戸籍謄本を持参)

※代理人は委任状が必要

手数料 土地・家屋評価等縦覧期間のみ無料。縦覧期間以外は1件300円。

閲覧場所 税務課

問い合わせ 市役所税務課

福祉

児童扶養手当について

この手当は、父母の離婚・死亡などで、父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を通じて児童の健全育成を図ることを目的として支給される手当です。

■対象 父母が離婚、父または母が死亡や重度の障害の状態、または父母にかわって児童(18歳に達する日以後の最初の年度末まで。ただし、障害がある場合は20歳未満まで)を養

育監護し、生計を同じくしている者。ほかに支給要件あり。

■手当額 扶養親族の数や本人所得および同居扶養義務者の所得によって決められます。

- ▼全部支給 41,430円
- ▼一部支給 41,420円～9,780円
- ▼2人目加算 5,000円
- ▼3人目以降加算 3,000円

受給するためには、申請が必要ですので詳しくはお問い合わせください。

また、手当を受給されている方(全部停止となっている方を含む)が、住所を変更した場合約世帯の状況が変わった場合(婚姻や内縁関係、出生など)は届け出が必要で、届け

出が遅れると、その分手当が受給できなくなったり、事由によっては返還金が発生する場合があります。

■問い合わせ 市福祉事務所

自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母(児童扶養手当を受給しているか、母の所得が同様の所得水準であること)が、自立のために資格や技能を習得するための講座受講料を補助します。

対象

厚生労働大臣が指定した講座で、受講料が20,005円以上の講座

補助額

受講料の20%(上限10万円)

高等職業訓練促進給付金

母子家庭の母が、自立のため看護師や介護福祉士、保育士、作業療法士、理学療法士の資格を習得するため、2年間以上のカリキュラムを修業する場合に、生活費を補助します。

支給期間(平成25年度入学生)

修業期間の全期間(ただし、2年を限度とする)

給付額(月額)

- ・非課税世帯 100,000円
- ・課税世帯 70,500円

※他に対象者の要件がありますので、詳細はお問い合わせください

■問い合わせ 市福祉事務所

サークルのご紹介

●ふらっと
障害のある子どもをもつ親として、共に生きていけたらとの思いで『ふらっと』ができて、毎月一回集まっています。

おしゃべりをしながら息抜きのためにしていただけだと思っています。ぜひ一度遊びにきてください。地域で声をかけあえる関係でありたいと思っています。子どもさんも一緒にいいですよ。

■日時 毎月第2火曜日 10時～12時

■場所 のいちふれあいセンター3階 和室

■問い合わせ (代表者) 石本誉子 ☎54-3720

●ほちほち
障害のある子どもをもつ親同士が、悩みやこれからの事を気軽に話せる場所をつくりました。

現在は就学前の子どもを持つ親の参加が多く、活動内容としては小学校進学に向けての悩み、不安を解消していくためにみんなで話し合っています。和気あいあいと話せればと思っていますので、いつでも声をかけてください。

■日時 月一回程度、不定期 ※ご連絡してからおいでください

■場所 赤岡保健センター 2階 和室

■問い合わせ (代表者) 竹脇美香 ☎090-591210271

家族を守るために 3.11から学ぼう伝えよう

3月24日(日) 防災学習会

第3・回 《場所》のいちふれあいセンター

第1部 鎌仲ひとみ監督の春休み特別授業「未来へのエネルギー」

北欧スウェーデンでは、公衆トイレの〇〇がエネルギーに変えられる?! 世界のエネルギー技術についての最新事情をわかりやすく解説します。君たちの未来のエネルギーはどうなる??

■時間/11:00~12:00 ■対象/小中学生
■参加費/無料(要事前申込み)

第2部 ドキュメント映画「内部被ばくを生き抜く」上映会



■時間/13:30~14:50
■チケット/ 大人前売り 700円 当日 1,000円 高校生以下 500円 (前売り・当日とも)

第3部 鎌仲ひとみ監督トーク会

■時間/15:00~16:30
※トーク会のみ参加でもチケットが必要です
【問い合わせ】野市中央公民館 ☎56-1056

3月定例議会の主な予定

- 3月5日(火) 開会…本会議(諸般の報告など)
- ▼以後の日程、その他詳細は市議会事務局 ☎57-8513まで

24時間 ☎088-832-5266

3月の番組表

月	口の中のがんについて
火	小学校入学を前に
水	手足がしびれたらどこへかかればいいのか?
木	美容外科と形成外科の違い
金	暗闇で光が走る光視症について
土・日	膝の痛み - 変形性膝関節症 -

高知保険医協会より 健康テレホンサービス

同じテーマのテープを朝9時～翌朝9時まで流しています

※日曜日・祝日は前日と同じテーマ

《問い合わせ》高知保険医協会 ☎088-832-5231



「風しんの流行にご注意を！」

平成24年度の風しん報告数は過去5年間で最も多く、妊婦が風しんに感染することで胎児に影響する先天性風しん症候群の報告数も増えており、増加傾向が持続することが懸念されます。
予防の観点から、妊娠可能な年齢の方、妊婦の夫や子どもおよびその同居家族で、明らかに風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがあるまたは抗体が陽性であること確認できた方以外の方は、風しんの予防接種(任意)を受けることをお勧めします。
また、麻しん風しん混合(MR)の予防接種対象者で未接種の方は、期間内に予防接種を受けましょう。



市役所健康対策課



水稲栽培農家の皆さまへ

水稲栽培の代かきから田植時期にかけて、水田から流出する濁水には肥沃な表土や肥料が含まれており、生産に必要な栄養分の流出に加えて、栄養負荷による河川環境への悪影響も懸念されます。
水稲の順調な生育と貴重な田んぼの資源・河川環境を守るために、次の点についてご協力をお願いします。
▼田に水を入れる前に、漏水がないように畦と排水口を点検しましょう
▼代かき作業を行うときは、できるだけ浅水で行い高低がないようにしましょう
▼田植時の落水を少なくしましょう



市役所農林課



香南市戦没者追悼式

戦争を知らない世代にも戦争の悲惨さと平和の意義を伝えるため、市民の皆さまの多数のご参列をお願いします。
※平服で差し支えありません
■日時 3月9日(土)
▼受け付け 12時30分～13時20分
▼式典 13時30分～15時
■場所 のいちふれあいセンター2階サンホール
■問い合わせ 市福祉事務所

優良運転者表彰

香南市在住の交通安全協会会員で、無事故無違反の資格を満たし、ほかの運転者の模範となる方に対して表彰を行っています。
表彰種別により要件が異なりますので、詳細はお問い合わせください。
■受付期間 3月1日(金)～29日(金)
■問い合わせ 交通安全協会香南支部 ☎54-0303

芝居絵屏風を飾る夏祭りの写真・情報を集めています

絵金蔵では、芝居絵屏風(枠貼り絵含む)を飾る夏の祭りについて、県下に残る10カ所の現状を記録に残すとともに、屏風にまつわる由来や展示方法、また現在は屏風が飾られていない過去の祭りの形態や関わった人々などについて、聞き取り調査を進めています。
こうした記録はほとんど文献に残されておらず、祭りを担う方々の記憶を頼りに少しずつデータ化を行っています。
絵金蔵が開館した平成17年以前に撮られた写真で、芝居

絵屏風を飾る祭りの様子が分かるものをお持ちの方、よろしければぜひ当館で複写させてください。ご提供いただくことももちろん歓迎いたします。

また、祭りの場での風習や風俗などについて、今はやらないが昔はこんな風に楽しんでいった、絵の飾り方は昔はこうだった等、ご記憶のことがありましたら、ぜひ情報をお寄せください。いただいた情報は大切に保管し、当館の調査・研究活動に活用させていただきます。ご協力をお願いいたします。
■問い合わせ 絵金蔵(担当 横田、福原) ☎57-7117

ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン予防接種の追加免疫の接種時期が変更しました。

変更前 追加免疫として3回(2回)目の接種後、おおむね1年の間隔で
変更後 追加免疫として3回(2回)目の接種後、7～13カ月の間に
※接種時期を間違わないようお気を付けてください
問い合わせ/市役所健康対策課



運転免許証の住所等変更届はすみやかに

春は進学・就職・転勤等のシーズンです。更新などの手続きがスムーズに行えない場合がありますので、運転免許証の本籍・住所・氏名が変わった方は、すみやかに届けてください。
■届出に必要なもの
■本籍や氏名を変更する方
運転免許証と本籍の記載された住民票

子どもの問題でお悩みの方は少年サポートセンターにご相談を

高知県は、少年非行に関する指数が全国と比較して高い水準にあり、その改善が重要な課題となっています。その方策として、県警は『非行少年を生まない社会づくり』に取り組んでいます。
少年サポートセンターは、高

知県警察本部少年課の機関として平成11年に発足しました。

■主な業務
▼少年相談活動：少年に関する悩みや困りごと、犯罪被害等のさまざまな相談の受理
▼街頭補導活動：少年の非行防止や被害少年の発見保護のために巡回活動
▼被害少年支援活動：犯罪やいじめ等の被害を受けた少年および保護者のために、被害少年カウンセラーによる面接や少年補導職員による面接
▼立ち直り支援・居場所づくり活動：子どもや保護者に自由に立ち寄りてもらい、おしゃべり等を通してほっと一息ついてもらえる場の提供、学習指導

いじめ相談電話

☎088-872-7867
※平日の8時30分～17時15分。時間外は留守番電話対応
(香南警察署内・香南地区地域安全協議会地域安全アドバイザー)
☎088-822-0809
☎088-822-0809
☎088-822-0809



おぎゃあ...おぎゃあ...という泣き声で生まれたことを知り、手を取り合っただけで夫と姑。よくドラマで見る光景を想像していた。
はじめて孫が産まれた日、「お産が進まぬ、陣痛促進剤を使ってお産を早めよう」という息子からの電話で病院に向かった。がんばっている嫁の病室に入ると、看護師さんが



嫁の背中をさすりながら、「大丈夫、夫やき、大きく呼吸して」とやさしく声をかけてくれた。ふと自分のお産の時の恥ずかしかった姿を思い出して、まだ冷静に痛みに耐えている嫁に「まだまだこれからやきね」と心の中でささやいた。
ところが、このお産は私の時と明らかに違っている。陣痛の進む点滴をしても、赤ちゃんが下に下りてこない。ママのおなかの居心地がいいがやねー。でも早く会い

初孫

うな姿に、「早く出してあげたい」という気持ちがいっぱい。
「これ以上お産が進まなければ帝王切開しよう」という先

生の言葉に、帝王切開することを決意し、手術の時間まで待つことに。病院に入ってからまる一日がたった。
かけつけた息子と一緒「がんばってきいよ」と手術室に送り出してから、なんと20分。産まれたよ」と声をかけられ新生児室を見に行くと、何日か前に産まれた小さな赤ちゃんの中に、産まれたうちの初孫。一番大きな声で泣いている。「で、かい!

4070グラム?。一番新入りの赤ちゃんのくせして、もうその部屋のボスのような大きさ。他の赤ちゃんの倍くらいに見える。
「この大きさでは普通分娩は無理でしたわ」と先生が苦笑。
何はともあれ、無事に産まれてくれた初孫と、がんばって、まる一日苦しみに耐えた嫁。これから、大変なこともたくさんあるけど、家族で乗り越えていこうね。

(初おばあちゃん)

※市内在住者に、シラムを書いてもらうコーナーです。